

多文化社会学研究科博士後期課程のカリキュラム・ツリー

ディプロマ・ポリシー (DP)	1年次				2年次				3年次			
	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q
<p>DP-1: 以下のいずれか (※)の研究を行い、多文化社会学に関する高度に専門的な知識と独創的な能力</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">多文化社会学特論 I</div> <div style="font-size: 2em;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">多文化社会学特論 II</div> <div style="font-size: 2em;">↘</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">研究演習 I</div> </div>				<div style="border: 1px solid black; padding: 20px;">研究演習 II</div>				<div style="border: 1px solid black; padding: 20px;">研究指導</div>			
<p>DP-2: 人文社会科学系の再編を通じた多文化社会学の基盤的かつ汎用性を持った知と方法のより一層高度な修得を通じた、「多文化社会的状況」における「問題本質を見極める能力」又は「問題解決に向けた多様な解を提示する能力」</p>												
<p>DP-3: 異なる社会の経験と理論を往還し、新たな知と価値を創生するなかで、自立的に研究を遂行することができる卓越した能力又は高度に専門的な職業に従事することができる卓越した能力</p>												

※①共生と多様性の理論の確立を目指す社会文化研究、②言語・非言語コミュニケーションを通じた相互理解の原理的解決を目指す言語研究、③日本・長崎の視点から、21世紀の人文社会科学の土台となる新たな自己—他者関係を構築するアジア研究、④グローバルな公共的価値を形成する公共政策研究、⑤核兵器廃絶の推進に寄与する平和に関する理論的及び実践的研究